

栄養評価法は、時代とともに大きく変わりました。以前は、血清アルブミンなどの生化学的指標による評価が中心でしたが、最近は体組成や身体機能の評価、口腔内・摂食嚥下の評価、カヘキシア・サルコペニア・フレイルなどの診断基準など、多面的なアプローチから栄養状態をスクリーニング・評価する時代になりました。このように栄養評価法が変化した背景には、透析患者の超高齢化、多併存疾患に伴い、食事・栄養療法の目的が「寿命の延伸」だけでなく、「患者・家族目線からみた生活の質や日常生活活動度の保持・向上」へと広がったことが関与すると思われます。

本特集では、透析患者に用いられるさまざまな栄養アセスメント・評価法について、最新の動向をまとめるとともに、透析現場でこれら評価法をどう活かすかについて、実際に役に立った事例を

含めて執筆していただきました。コラムでは、社会的、経済的に困窮する方々への生活支援について取り上げました。透析施設に従事する皆様には、食事・栄養支援をする際のバイブルの一冊として、日々の臨床でご活用いただきたいと思います。

今月号は、本誌の栄養領域における最後の特集号となります。長年、本誌に関わらせていただいた編集委員の立場より、ぜひ患者が来院した際には、会話や触診、各種測定を通して全身状態の変化を早期に捉え、患者にとって制限食ではなく望ましい食事・栄養とは何か、また、楽しく喜びを感じられる食事をどのように提供できるかを考えながら、診療に当たっていただきたいと思います。
(市川和子、加藤明彦)

2026 年 (Vol. 42) 特集のご案内

- | | |
|--|---------------------------------------|
| No.① 患者参加型医療として透析を考える
—SDM と ACP | No.⑦ CKD-MBD ガイドライン 2025 を実装する |
| No.② 人工知能を活用した透析医療の最適化 | No.⑧ 透析患者の栄養評価と栄養支援—現状と今後の展開 |
| No.③ 透析治療システムの生体適合性—基礎的知見から患者報告アウトカムまで | No. 9 2026 年現在 これがすべてだ！ HD と PD を比較する |
| No.④ 透析技術の最前線 | |
| No.⑤ 看取りの透析医学を考える | (既刊は○) |
| No.⑥ 透析医療と看護師の特定行為—看護師の役割拡大 | |

臨牀透析® Vol.42 No.8

© 2026 年 8 月 10 日発行
定価：2,860 円
(本体 2,600 円＋税 10%)

- ・ 2026 年 年間購読料 (増刊号含む 13 冊, 税込)
冊子版 39,050 円
電子版 (個人のみ) 39,050 円
冊子版＋電子版 (個人のみ) 44,550 円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2026, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-9-5 NK 本郷ビル 電話 (03) 3814-8541